

## 少雨に係わる農作物等の管理について

平成25年5月22日  
農業技術課

### 1 水稲

ア 配水を計画的に進め、適期内に田植えを終えるようにする。

### 2 麦

ア かん水可能なほ場で、かつ排水溝を掘るなど排水対策を実施済みのほ場では、畦間かん水を行う。ただし、かん水したら直ちに排水して、湿害を受けないようにする。なお、湿害等により株抜きの多い圃場では根の張りが悪く、湿害を受けやすいのでかん水は行わない。

イ 枯れ熟れにより刈取り時期が早まることも予想されるので、今後の生育状況に応じて収穫作業の準備を早める。

### 3 果樹

#### (1) かん水と土壌管理

- ・かん水可能な果樹園は、早めにかん水を行う。かん水間隔の目安は、概ね5～6日とする。
- ・全面かん水が困難な場合は、樹冠下の根域を中心に部分かん水を実施する。
- ・水分の競合を防ぐため、草生園では下草刈りを、清耕園では除草を兼ねて浅く中耕を行う。なお、樹冠下に敷きワラ等のマルチを実施し、土壌水分の保持に努める。

#### (2) 生理障害対策

- ・少雨により土壌が乾燥すると、りんごやぶどうなどにホウ素欠乏症などの生理障害が発生しやすくなる。かん水を行うとともに、必要に応じて葉面散布を行う。

#### (3) 病虫害防除

- ・本年は、りんごの腐らん病、うどんこ病の発生が多い傾向で、アブラムシの発生も各地で見られている。今後乾燥が続くと、ハダニ類やアザミウマ類などの発生も心配されるので、適期防除に努める。

#### (4) りんご、なし

- ・4月中旬～5月上旬の低温及び摘果の遅れにより果実肥大はやや不良で、生育は遅れ気味である。摘果を早めに行い果実肥大を促進させる等、適期作業に心がける。なお、凍霜害被害が大きい園では、結実状況の見極めができ次第摘果作業を行う。

#### (5) もも

- ・4月中旬～5月上旬の低温と乾燥の影響により、果実の初期肥大が不良である。肥大状況を見極めながら摘果作業をすすめ、果実肥大を促進させる。

#### (6) ぶどう

- ・乾燥により発芽にバラツキが見られる。芽かきにより新梢の生育を揃えるなどの管理を徹底するとともに、展葉枚数などの生育状況を把握し、農薬散布や植物成長調整剤の処理等は適期に行う。なお、果樹試験場の「巨峰」開花予想(5/22現在)では、開花始め、満開期とも平年より4日遅れとなっているので参考とする。

## 4 野菜

### (1) かん水と土壌管理

- ・マルチ展張作業は土壌水分を確保してから行う。
- ・乾燥が続いたほ場では、短時間の降雨では土壌表面が湿る程度で生育に必要な水分が供給されないため、降雨の状況を見ながらかん水を行う。
- ・定植時に土壌が乾燥している場合は、定植時の植穴かん水や定植後株元かん水を行い、活着を促す。また、主に葉野菜類でかん水可能なほ場では、午前中を中心にスプリンクラー等でかん水を行う。
- ・水田転換畑のアスパラガス等でかん水可能なほ場では、うね間を中心にかん水を行う。

### (2) 生理障害対策

- ・ハクサイ、セルリーの心腐れ症、トマトの尻腐れ果などの生理障害が発生しやすいので、カルシウム等の含まれた微量要素肥料の葉面散布を行う。
- ・干ばつ後の降雨や高温などによって肥効が高まり、レタスのタケノコ球やタコ足球など変形球が出やすいので、むやみな追肥は行わず、適正な草勢を保つようにする。

### (3) 病害虫対策

- ・乾燥状態では、アブラムシ類やハダニ類、アザミウマ類の発生が多くなるので、適期防除に努める。

## 5 花き

### (1) かん水と土壌管理（露地花き）

- ・少雨傾向により、草丈やボリュームの不足が懸念されるので、土壌水分が不足している場合は上部かん水やうね間かん水を行う。
- ・かん水ができないほ場では、敷きわらやマルチ等を行って土壌水分の保持に努める。
- ・定植を予定しているほ場で、ほ場全体へのかん水が難しい場合は、植え溝もしくは植穴にかん水して苗が老化しないうちに植え付けを行う。

### (2) キク

- ・定植後の著しい乾燥は、活着及び生育不良の要因となるので、ほ場の状況によりかん水を行う。また、乾燥防止対策として敷きわら等を行い、土壌水分の保持に努める。なお、トンネルを除去する際には、蒸散の少ない夕方や曇天時を選んで行う。

### (3) りんどう

- ・新植ほ場では、定植後の著しい乾燥により活着が遅れ生育不良となるので、上部からのかん水を行い活着を促す。
- ・据置ほ場では、土壌水分を確認し必要に応じて通路かん水を行なう。しかし、過剰なかん水や長時間の滞水は、根腐れを起こす原因となるので注意する。

### (4) シンテッポウユリ

- ・新植ほ場では、定植後の著しい乾燥により活着が遅れ生育不良となるので、上部からのかん水を行い活着を促す。生育状況に応じて1000倍程度の液肥を施用し、水と肥料を補う。

### (5) 害虫防除

- ・アブラムシ類、アザミウマ類、ハモグリバエ、ダニ類等の発生が、露地、施設ともに多い傾向である。害虫防除の徹底を図るとともに、ほ場周辺の雑草防除対策にも努め、害虫の飛来、侵

入防止を行う。

## 6 畜産（飼料作物）

### （1）牧草

- ・刈り取りは10～12cmのやや高刈りとし、再生力が悪くならないようにする。
- ・刈取り後の予乾は水分の低下が早いので、乾き過ぎないように注意して反転し、ロールベール・ラップの作業を行う。
- ・水田転換畑等で、かん水が可能な飼料畑ではかん水に努める。

### （2）飼料用トウモロコシ、ソルガム等

- ・既に播種したほ場では、かん水のできる圃場はかん水に努める。
- ・これから播種する場合は、通常より1cm程深くすると共に鎮圧を実施して発芽を促す。

## 参 考

### 少雨に関する長野県気象情報 第1号

平成25年5月21日16時30分 長野地方気象台発表

(見出し)

長野県では、4月中旬から降水量の少ない状態が続いています。この状態は、今後1週間程度は持続する見込みです。農作物や水の管理等に十分に注意してください。

(本文)

長野県では、4月中旬から、高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量の少ない状態が続いています。

この状態は、今後1週間程度は持続する見込みです。

農作物や水の管理等に十分に注意してください。

降水量（4月11日から5月20日まで）（速報値）

（気象官署及び特別地域気象観測所）







	降水量（ミリ）	平年比（％）
長野	52.5	60
松本	58.0	51
諏訪	84.5	63
軽井沢	54.0	44
飯田	130.0	68

降水量（4月11日から5月20日まで）（速報値）

（アメダス）

	降水量（ミリ）	平年比（％）
飯山	46.0	49
大町	68.0	46
上田	47.5	53
佐久	46.5	51
木曾福島	113.0	48
伊那	91.0	52

5月22日5時 長野県の週間天気予報

日付	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	
長野県	晴のち時々曇 	晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇時々晴 	曇 	
降水確率(%)	-/0/10/10	10/0/10/10	20	30	30	30	40	
信頼度	/	/	A	A	A	B	C	
長野	最高(°C)	29	23	27 (25~30)	28 (27~31)	28 (26~30)	28 (27~32)	26 (22~30)
	最低(°C)	/	12	11 (9~12)	12 (10~14)	14 (12~15)	14 (12~16)	14 (12~16)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
			最低気温		最高気温			
長野	平年並 5 - 18mm		11.7 °C		23.4 °C			

関東甲信地方週間天気予報

平成25年5月21日16時35分 気象庁予報部発表

予報期間 5月22日から5月28日まで

期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れますが、その後は気圧の谷や湿った気流の影響で雲が広がりやすいでしょう。

最高気温・最低気温ともに、平年並か平年より高い所が多く、期間のはじめはかなり高くなる所もあるでしょう。

降水量は、平年より少ないでしょう。

# 関東甲信地方 1か月予報

(5月18日から6月17日までの天候見通し)

平成25年5月17日

気象庁地球環境・海洋部 発表

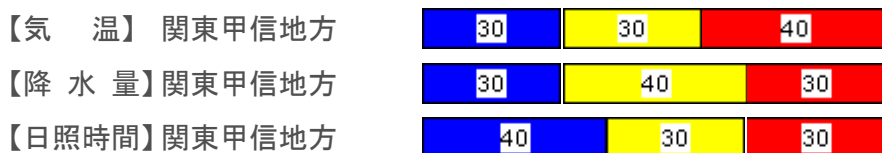
## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

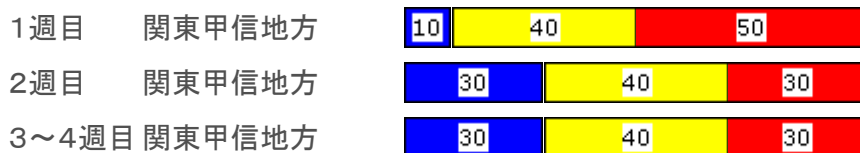
週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: 低い 平年並 高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 5月18日(土)~ 6月17日(月)

1週目 : 5月18日(土)~ 5月24日(金)

2週目 : 5月25日(土)~ 5月31日(金)

3~4週目 : 6月 1日(土)~ 6月14日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月24日

3か月予報:5月23日(木) 14時